

# 手洗い！重要



## 全国で流行拡大中！ 新型コロナウイルス感染症

令和2年4月15日  
富山県感染症情報センター  
(0766-56-5431 直通)  
(0766-56-8142 細菌部)  
(0766-56-8143 ウイルス部)

### 感染症発生動向速報

(令和2年第15週分・4月6日～4月12日)

#### 《インフォメーション》

#### ●新型コロナウイルス感染症

国内の感染者数は4月に入り急速に増加し、4月14日正午時点には8,405人に達しました。この事態を受けて4月7日に7都府県を対象として緊急事態宣言が発出されました。

県内では、図中に示す2つのクラスターが発生し、結果的に感染者数は4月14日正午時点で49例と増加しました。感染者の年齢は50歳以下が大半ですが、70歳以上も2割ほど含まれています。また、感染源不明の症例が約30%程度を占めています。新型コロナウイルスの感染経路は飛沫・接触感染です。これまで、県内では感染予防、感染拡大防止のため、手洗いや咳エチケットなどの基本的な感染予防に加え、「3つの密」(①密閉、②密集、③密接)を避けて行動する対策を進めてきました。しかし、感染者数の急増と感染源不明例の増加傾向を受けて、不要不急の外出自粛と人と人との接触機会を減らす対策が必要になっています。また、やむを得ず外出する際にはマスクを着用しましょう。

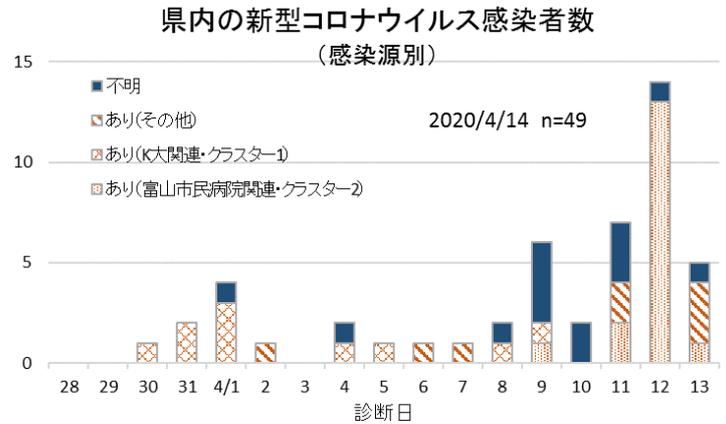
新型コロナウイルス感染症の初期症状は発熱、咽頭痛、咳など通常のかぜ症状と同様です。しかし、かぜと比較して、体のだるさが強く、その症状が長く続きます(4日以上)。また、しばしば肺炎を起こすのが特徴です。職場や医療機関での感染拡大を防ぐため、発熱等のかぜ症状がある方は自宅で療養して下さい。症状が4日以上続く場合は帰国者・接触者相談センターに相談の上、指定された医療機関を受診しましょう。高齢者や基礎疾患等がある方は重症化することがあるため、2日程度症状が続く場合には早めにご相談下さい。

#### 《全数報告の感染症》

- 指定感染症 新型コロナウイルス感染症 33件
- 二類感染症 結核 2件 (①70歳代、女性 ②90歳代、女性)
- 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 2件 (①30歳代、女性、血清群不明、VT1VT2 ②70歳代、女性、血清群不明、VT1VT2)
- 四類感染症 レジオネラ症 1件 (第14週診断分：30歳代、男性、肺炎型)
- 五類感染症 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2件 (①第13週診断分：70歳代、男性、A群 ②第14週診断分：80歳代、女性)
- 梅毒 1件 (第7週診断分：50歳代、男性、早期顕症梅毒I期)
- 破傷風 1件 (60歳代、女性)
- 百日咳 1件 (40歳代、男性)

#### 《定点報告の感染症》

今週の県内上位3疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週 (増減)	先週
1位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.86 (↓)	3.59
2位	感染性胃腸炎	2.41 (↓)	2.52
3位	マイコプラズマ肺炎	1.00 (↑)	0.40



○感染症発生動向調査報告状況（令和2年第15週 令和2年4月6日～令和2年4月12日）

分類	疾患	今週報告分（第15週）					累積報告数							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	1	1	1		30	33	1	1	3	1	38	44	
二類感染症	結核			1	1		2	2	2	11	4	14	33	
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症			2			2			3		4	7	
四類感染症	E型肝炎							2					2	
	A型肝炎							7				1	8	
	デング熱											1	1	
	レジオネラ症							1		3		3	7	
五類感染症	アメーバ赤痢											1	1	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症							1		3	1	2	7	
	急性脳炎							2				1	3	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症									2		4	6	
	侵襲性肺炎球菌感染症							1		1		3	5	
	水痘（入院例）							1	2	2		2	7	
	梅毒							2		2		3	7	
	破傷風					1	1					1	1	
	百日咳				1		1					24	2	26
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ			3		6	9	625	290	878	567	1,190	3,550
				0.23		0.38	0.19							
RSウイルス感染症				4			4	1	5	23	4	34	67	
				0.50			0.14							
咽頭結膜熱		4	1	6			11	35	49	66	6	67	223	
		1.00	0.33	0.75			0.38							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		3	17	29	5	29	83	66	142	896	138	1,198	2,440	
		0.75	5.67	3.63	1.25	2.90	2.86							
感染性胃腸炎		22	7	10	8	23	70	472	285	383	204	1,220	2,564	
		5.50	2.33	1.25	2.00	2.30	2.41							
水痘			2			3	5	28	27	33	16	76	180	
			0.67			0.30	0.17							
手足口病								18	1	13	4	39	75	
伝染性紅斑				1		1	2	9	24	25		152	210	
				0.13		0.10	0.07							
突発性発しん		1	1	1	1		4	6	10	53	19	31	119	
		0.25	0.33	0.13	0.25		0.14							
ヘルパンギーナ							21		7	1		29		
流行性耳下腺炎		1			1	2		1	2	4	3	10		
		0.33			0.10	0.07								
流行性角結膜炎		1				1		5	7	2		14		
		1.00				0.17								
無菌性髄膜炎										1	3	4		
マイコプラズマ肺炎			3	1	1	5	1	3	11	12	8	35		
			3.00	1.00	1.00	1.00								
感染性胃腸炎（ロタウイルス）										2		2		
インフルエンザによる入院患者（*）				1		1		42	5	28	72	53	200	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

\* インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和元年第36週(9月2日)～の集計です。

## インフルエンザ定点における患者診断状況

このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

現在、下の表によると、B型が55.6%となっています。

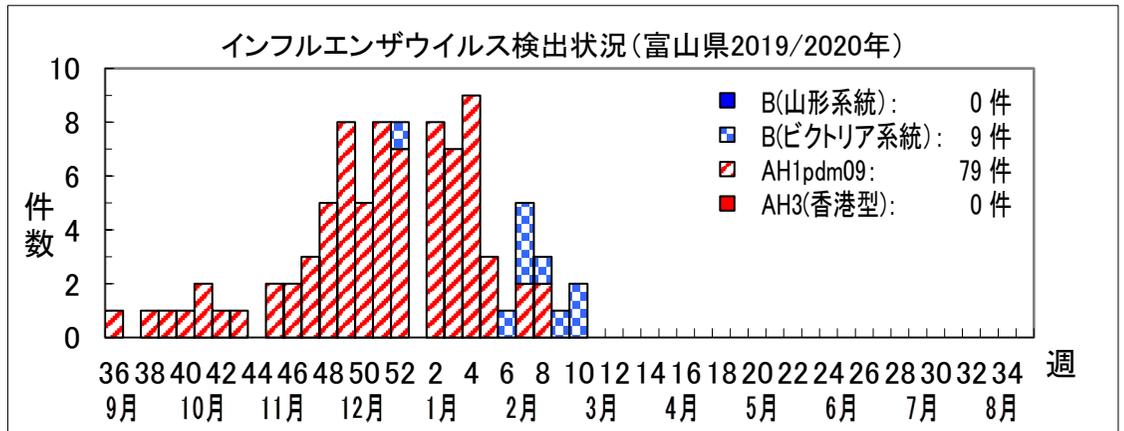
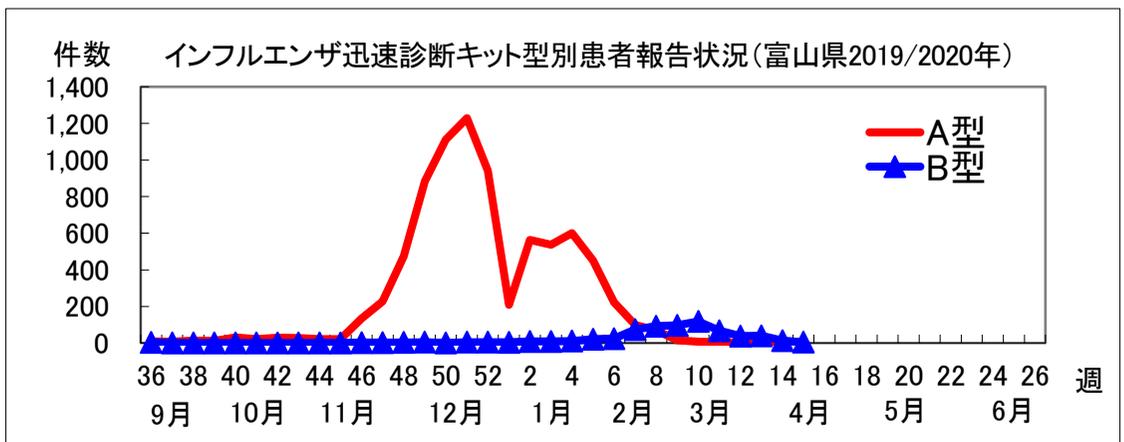
### 第15週(4/6~4/12)：富山県 0.19人/定点

(単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 <sup>※2</sup>	合計
		A型	B型		
新川	0 / 7	0	0	0	0
中部	0 / 5	0	0	0	0
高岡	2 / 13	0	1	2	3
砺波	0 / 7	0	0	0	0
富山市	2 / 16	0	4	2	6
富山県	4 / 48 <sup>※1</sup>	0	5	4	9
富山県累計(2019年36週~)		7,985	652	365	9,002

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が4か所あったことを示します。

※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



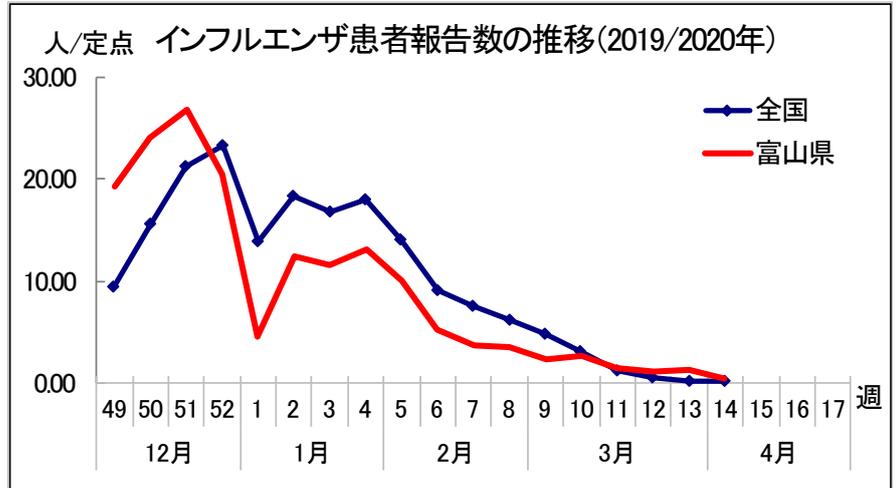


● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第15週 (4/6~4/12) : 富山県 0.19 人/定点

新川 HC (0.00)、中部 HC (0.00)、高岡 HC (0.23)、砺波 HC (0.00)、富山市 HC (0.38)

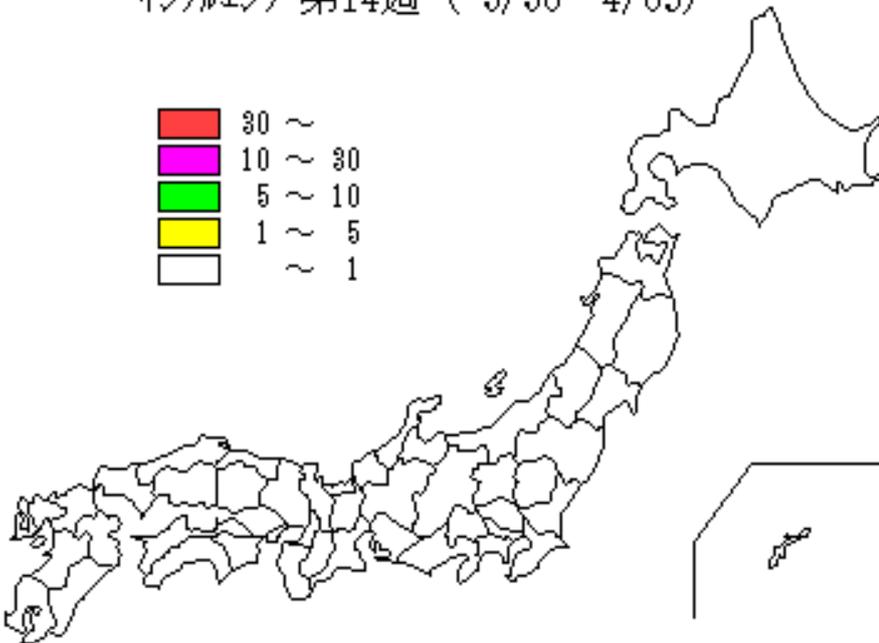
今週、県内のインフルエンザ報告数は、定点医療機関あたり 0.19 人となり、先週 (0.48) から減少しました。県内のインフルエンザの流行は低下傾向にあり、終息に向かっていると思われます。



● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第14週 (3/30~4/5)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 0.15 人となり、前週の 0.28 人より減少しました。7 県で前週より増加しています。34 都道府県で前週より減少しています。

インフルエンザ第14週 (3/30- 4/05)



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	0.14	滋賀県	0.20
青森県	0.98	京都府	0.38
岩手県	0.58	大阪府	0.31
宮城県	0.17	兵庫県	0.20
秋田県	0.15	奈良県	0.18
山形県	0.20	和歌山県	0.00
福島県	0.10	鳥取県	0.41
茨城県	0.03	島根県	0.29
栃木県	0.07	岡山県	0.45
群馬県	0.03	広島県	0.05
埼玉県	0.15	山口県	0.06
千葉県	0.08	徳島県	0.03
東京都	0.03	香川県	0.19
神奈川県	0.05	愛媛県	0.07
新潟県	0.02	高知県	0.06
富山県	0.48	福岡県	0.09
石川県	0.29	佐賀県	0.00
福井県	0.32	長崎県	0.20
山梨県	0.02	熊本県	0.06
長野県	0.05	大分県	0.00
岐阜県	0.17	宮崎県	0.12
静岡県	0.05	鹿児島県	0.07
愛知県	0.20	沖縄県	0.31
三重県	0.13	全国	0.15

○感染症発生動向調査報告状況（令和2年3月分）

		3月報告分					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
五類感染症 (定点把握)	性器クラミジア感染症			5		6	11	1	1	7		11	20
				1.67		1.50	1.10						
月報対象疾患 (下段は定点当たりの患者数を示す)	性器ヘルペスウイルス感染症				1	3	4		2		3	8	13
					1.00	0.75	0.40						
	尖圭コンジローマ			1		1	2			1		3	4
				0.33		0.25	0.20						
	淋菌感染症			1		3	4			2		8	10
				0.33		0.75	0.40						
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	3	2	2	1		8	7	3	6	4	8	28
		3.00	2.00	2.00	1.00		1.60						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症			1			1			4			4
				1.00			0.20						

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。